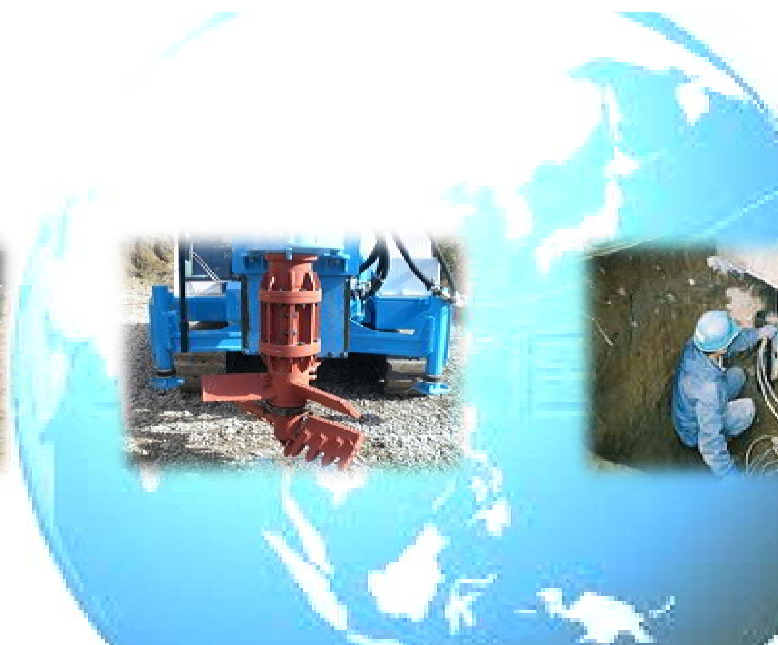


2012～2014年度中期経営計画 『*GLOCAL 2014*』



サムシングホールディングス株式会社
平成24年2月20日(月)

免責事項

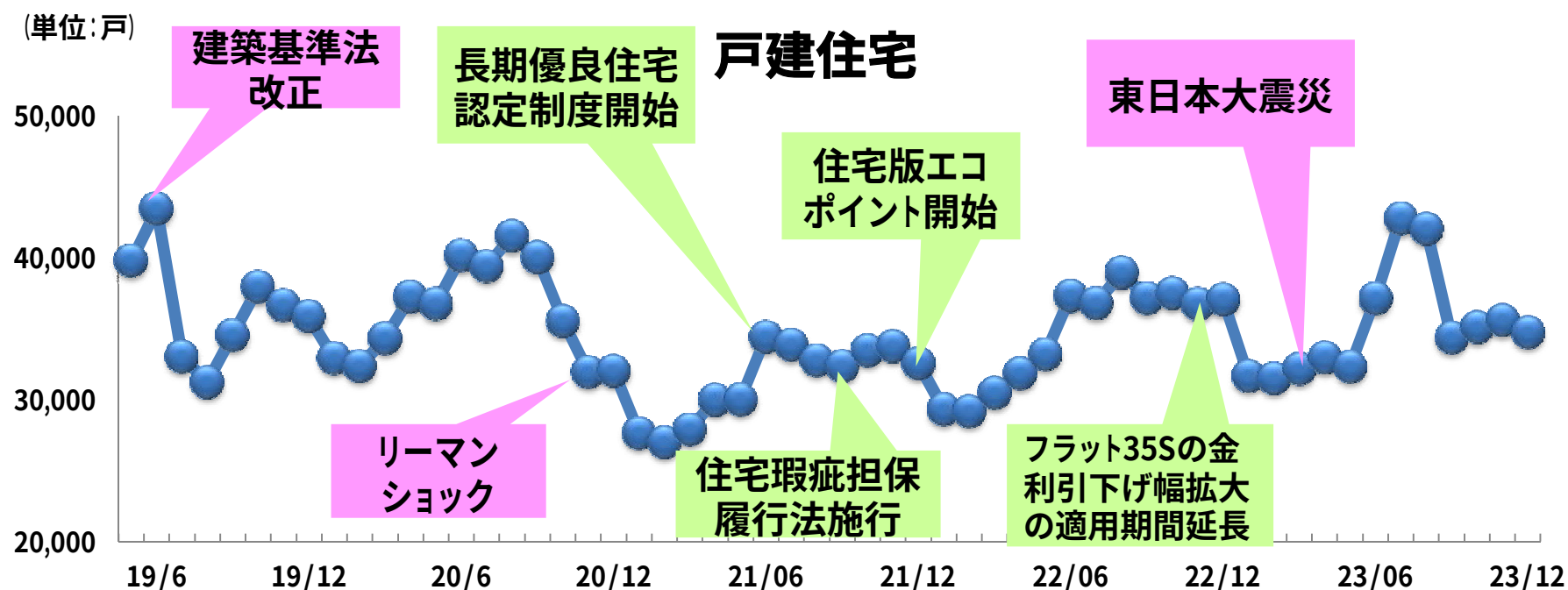
本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。



2011年12月期 検証

直近の新設住宅着工戸数推移



(単位: 千円)	08/8月期	09/8月期	10/8月期	10/12月期 4ヶ月	※10/1月～12月	11/12月期	前年同期比 (%)
	H19.9～H20.8	H20.9～H21.8	H21.9～H22.9	H22.9～H22.12	H22.01～H22.12	H23.01～H23.12	
住宅着工戸数	1,049,108	878,394	788,207	265,797	813,126	834,117	+2.6
戸建住宅	439,776	383,269	399,322	132,183	415,579	422,424	+1.6

※22年12月期より8月から12月に決算期を変更をしているため、前年同期比については、10/1月～12月の期間と比較しております。

※戸建住宅とは、住宅着工戸数全体における、持家と分譲（一戸建）の着工戸数の合計

出所: 建築着工統計調査 (国土交通省)

- 平成23年の住宅着工戸数は、2年連続の増加となった。
 - ⇒東日本大震災後以降は、上昇傾向
 - ◆住宅着工戸数 834,117戸 (前年同期比2.6%増、2年連続の増加)
 - ◆持家住宅 305,626戸 (前年同期比0.1%増、2年連続の増加)
 - ◆分譲住宅 (一戸建て住宅) 116,798戸
(前年同期比5.8%増、2年連続の増加)
- 『長期優良住宅の普及促進に関する法律』の施行
 - スクラップアンドビルドのフローからストックへ ⇒ 品質重視
- 『住宅瑕疵担保履行法』の施行
 - ⇒法律により、責任所在が明確化
- 住宅版エコポイント制度の対象期間短縮
 - (5ヶ月間の前倒し (23年12月末日→7月末日))
 - ⇒駆け込み需要により新設住宅が一時的に増加
- 金利優遇措置「フラット35S」の金利引下げ幅拡大の期間延長
 - ⇒1年間の適用期間延長 (22年12月30日→23年12月30日)
 - ⇒1%の金利優遇による利用申請が高水準

※想定以上の利用申請により、約6,200億円の予算枠を超える可能性があるため、9月末に短縮する事を発表

(平成23年8月2日国土交通省発表)

東日本大震災以降の住宅業界のニーズ

直近の需要

沈下修正工事

- 液状化による宅地の地盤沈下修正ニーズ

→千葉県を中心に関東地方で2万棟以上で過去最大規模の住宅被害

今後の需要 ～新たなマーケット～

液状化対策

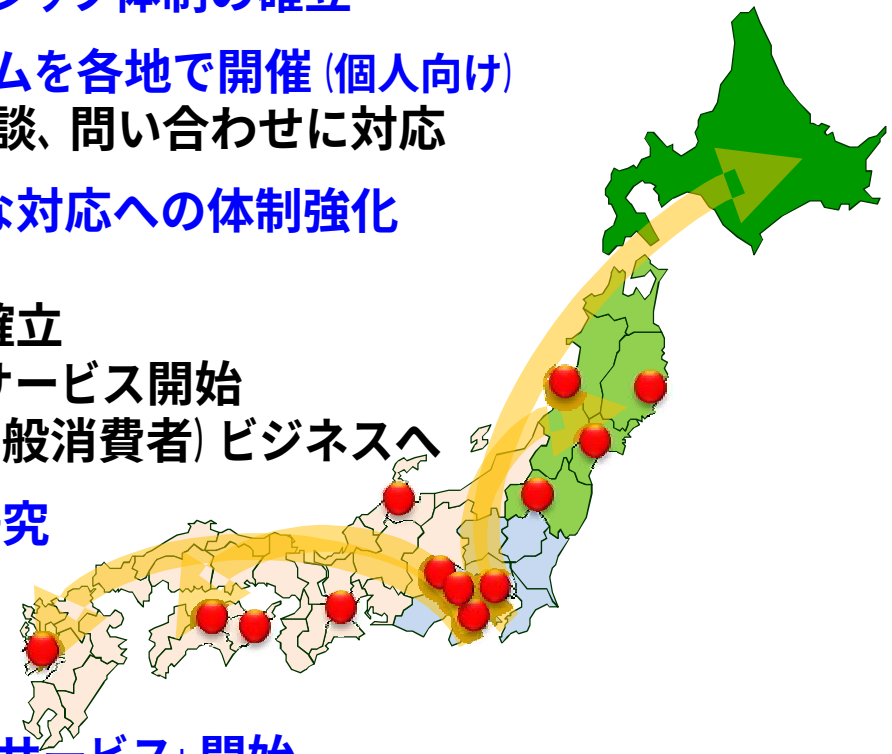
- 今後想定される大規模地震による日本各地の沿岸部の大規模な液状化対策
- 民間宅地 (新規・既存) の液状化対策
 - 地盤に対する意識の向上
- 安全・安心な住宅の提供
 - 地盤調査・地盤改良の重要性
 - 国土交通省も不動産売買の際に、「安全表示」も検討。

東日本大震災による住宅業界のニーズへの対応

東日本大震災による住宅業界のニーズへの対応

東日本大震災の
本格的な復興需要に
向けて

- 震災相談窓口の設置 (個人向け)
⇒地盤の液状化等の住宅被害に関する相談、問い合わせに対応
- 施工力及び技術力向上のためのパートナーシップ体制の確立
- 地盤に関する勉強会、セミナー、シンポジウムを各地で開催 (個人向け)
⇒地盤の液状化等の住宅被害に関する相談、問い合わせに対応
- 液状化対策、沈下修正工事のスピーディーな対応への体制強化
⇒地盤状況に応じた最適な工法の提供
⇒全国をカバーするサービス提供体制の確立
⇒沈下修正サービス「家の傾き119番」のサービス開始
⇒既存のBtoBビジネスから新たにBtoC (一般消費者) ビジネスへ
- 液状化被害による今後の地盤調査方法の研究
⇒産学共同による研究開発の追求
- 地盤調査・改良工事現場見学会実施
- 新築住宅向け『セカンドオピニオン地盤保証サービス』開始
- 液状化対策等のニーズに対応した地盤調査方法の開発



計画実績対比

(単位:千円)	11/12累計 (計画)	11/12累計 (実績)	差異	計画比 (%)	主な要因
売上	7,000,000	7,573,475	573,475	+8.2	
(地盤改良事業)	6,710,000	7,242,751	532,751	+7.9	沈下修正工事の増加
(保証事業)	118,000	126,724	8,724	+7.4	認定店経由の地盤保証販売増加
(その他の事業)	172,000	204,000	32,000	+18.6	特需によるユナイテッド・インスペクターズの売上増
売上原価	5,150,000	5,585,512	435,512	+8.5	
(地盤改良事業)	4,951,200	5,360,551	409,351	+8.3	売上の増加に伴う原価の上昇
(保証事業)	74,900	79,416	4,516	+6.0	売上の増加に伴う原価の上昇
(その他の事業)	123,900	145,544	21,644	+17.5	売上の増加に伴う原価の上昇
売上総利益	1,850,000	1,987,963	137,963	+7.5	
(地盤改良事業)	1,758,800	1,882,199	123,399	+7.0	売上の増加
(保証事業)	43,100	47,307	4,207	+9.8	売上の増加
(その他の事業)	48,100	58,455	10,355	+21.5	売上の増加
販管費	1,670,000	1,747,607	77,607	+4.6	売上の増加に伴う諸経費の増加
営業損益	180,000	240,355	60,355	+33.5	売上総利益の増加
営業外収益	9,000	9,589	589	+6.5	受取利息の増加
営業外費用	39,000	42,453	3,453	+8.9	支払利息の増加
経常損益	150,000	207,492	57,492	+38.3	営業利益の増加
当期純損益	94,000	153,436	59,436	+63.2	経常利益の増加



2012～2014年度 中期経営計画

■中期ビジョン

サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした
『**住宅価値創造事業グループ**』
を目指します

- 労働集約型から知識集約型へ
- 既存事業のドメイン拡大
(住宅業界における付加価値サービスを創造)
- グループのシナジーによる企業成長

■中期テーマ

『**グローバル企業への成長**』

地域密着でお客様の要望に、お応えし、最先端の
技術開発、グローバルな海外進出にて、グローバ
ルとローカルを併せ持つ企業へ成長します。

＜地盤改良事業＞

- ◆戸建住宅中心から非住宅分野（ロードサイド店舗、介護施設等）の受注拡大
- ◆マーケットニーズに対応した技術開発を継続し、高付加価値商品の提供と低価格対応のため、ローコストオペレーション体制を構築する
- ◆「地盤の専門家」として、液状化対策への対応（施工体制の確立）



新しい需要に対応した地盤調査方法・改良工法 を積極的に提案する

＜保証事業＞

- ◆工務店・ビルダーなどの市場ニーズに対応したサービスの拡充及び新商品の開発

＜その他の事業：住宅検査関連業務＞

- ◆指定保険法人の検査業務、中古住宅の検査業務の受注拡大

＜その他の事業：電子認証サービス＞

- ◆各種報告書及び写真データ等のシステム販売を拡大

2012～2014年度 中期経営計画



(単位:千円)	12/12月期 (計画)	13/12月期 (計画)	14/12月期 (計画)
売上	9,100,000	10,500,000	12,000,000
(地盤改良事業)	8,753,500	10,130,000	11,585,000
(保証事業)	128,000	130,000	135,000
(その他の事業)	218,500	240,000	280,000
売上原価	6,691,000	7,700,000	8,760,000
(地盤改良事業)	6,439,000	7,437,000	8,470,000
(保証事業)	68,000	71,000	74,000
(その他の事業)	184,000	192,000	216,000
売上総利益	2,409,000	2,800,000	3,240,000
(地盤改良事業)	2,314,500	2,693,000	3,115,000
(保証事業)	56,500	59,000	61,000
(その他の事業)	38,000	48,000	64,000
販管費	2,109,000	2,400,000	2,700,000
営業利益	300,000	400,000	540,000
営業外収益	5,000	5,000	5,000
営業外費用	40,000	45,000	45,000
経常利益	265,000	360,000	500,000
当期純利益	211,300	210,000	293,500

人員計画	12/12月期 (計画)	13/12月期 (計画)	14/12月期 (計画)
グループ全体	330名	360名	390名

お問い合わせIR担当窓口

<http://www.sthd.co.jp>

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

氏名：笠原 篤

井上 正俊

TEL：03-5566-5555

Mail：ir@sthd.co.jp